

186 鳥居の先の別世界（2023年8月17日）

これまでに何度かフランスにある素敵な日本庭園をご紹介しました（※）。日本庭園で、右の写真のような赤い門を目にしたことがあるのではないのでしょうか。これは鳥居です。右の写真は、フランス西部のモレブリエ東洋公園にある鳥居です。鳥居は、本来は神社にあるものです。



一般的に、鳥居は神社の入口に建てられています。鳥居は、人間が暮らす俗世界と神様がおられる場所の境を示すもので、鳥居を抜けた先は神聖な場所になります。

日本で有名な鳥居の一つに、広島県廿日市市の宮島にある厳島神社の大鳥居があります。大鳥居は日本の重要文化財で、大鳥居を含む厳島神社は、1996年にユネスコ世界文化遺産に認定されました。朱色の大きな鳥居は、社殿から約160メートル離れた沖合に建てられており、独特の光景を生み出しています。右の二枚の写真は、同じ場所で別の日に撮影したものです。満潮のときは、鳥居は海の中に建っているように見えますが、干潮のときは、鳥居の足元まで歩いて近づくことができます。水力や潮力に耐えられるようにするために、左右の柱の前後に補助的な柱が建てられているのが特徴です。モレブリエ東洋公園にある鳥居にも補助的な柱があることから、厳島神社の大鳥居を参考にデザインされたのかもしれませんが（一枚目の写真を参照）。



大鳥居の素晴らしさは、日本国外にも伝えられています。今年5月に行われたG7広島サミットでは、各国首脳とそのパートナーたちは厳島神社を訪れ、首脳たちは大鳥居を背景に記念撮影をしました。

## パリの日本大使館員がフランスで見つけた日本

フランスにある日本庭園で見かける鳥居は赤く、日本にある鳥居も赤色や朱色のものが多いですが、色は赤と決まっているわけではありません。厳島神社には、石で作られた鳥居もあります（写真右）。フェリーで宮島に到着し、栈橋から社殿へ向かう参道の途中に石の鳥居が立っています。鳥居をくぐると、人間が暮らす世界から神様がおられる場所に入ります。



フランスにある日本庭園で、神社にある鳥居が使われているのを最初に見たときは、少し違和感を覚えました。しかし、今では鳥居が日本庭園の演出に必要な役割を果たしていると思うようになりました。庭園の入口に鳥居があると、宗教的な意味はなくても、鳥居の先には全く違う世界が広がっていることを感じさせてくれるように思います。もし日本庭園に鳥居があったら、鳥居の先に広がる日常とは違った景色を想像しながら、鳥居を通り抜けてみてはいかがでしょうか。

※

[43 アルベール・カーン庭園](#)

[113 日本庭園](#)

[124 モレブリエ東洋公園](#)